

■基本目標

自転車を移動手段の選択肢に加え、より豊かな生活を実現
～地域の特性に合った安心して自転車と共存できるまち～

■個別目標

目標1

安全意識を高め、事故のない自転車利用を促進

<目標設定におけるポイント>

自転車利用者はもとより、同じ道路空間を利用する歩行者や自動車等に対しても自転車の走行ルールに関する認識や、安全利用意識を共通して持ってもらえるような取組を推進する。

目標2

歩行者、自転車、自動車が共に安心して快適に通行できる環境を創出

<目標設定におけるポイント>

同じ道路空間を利用する歩行者、自転車、自動車等が共に安全かつ快適に通行できる環境を創出するため、自転車通行空間の整備や、各施設等の需要に応じた駐輪環境の整備を推進する。

目標3

自転車の活用により交通の利便性向上

<目標設定におけるポイント>

シェアサイクルのさらなる普及促進や自転車と公共交通の相互利用等により、様々な施設へのアクセス性を向上させるとともに、自転車関連情報の積極的な発信により、多様な目的に応じて自転車を活用できるように取り組む。